

## 寒風のなか駆け抜ける！ 大垣工業高等学校『伝統の強歩大会』開催

岐阜県立大垣工業高等学校（大垣市南若森町）は、1月21日（火）、杭瀬川堤防において強歩大会を開催しました。今年で38回目を迎えた伝統行事で、全校生徒を対象に827人（男子816人、女子11人）が参加し、男子は13Km、女子は10Kmの長距離に臨みました。

今年度、杭瀬川では各所で河川工事が進められているため、生徒の安全確保を第一優先に、大会コースを大幅に変更していただきました。その中で、どうしても工事現場を通過しなければならない区間については、終日、工事を休止し、カラーコーンやバリケードなどの保安設備を設置し、大会運営に支障が出ないよう協力をさせていただきました。

伊吹おろしが吹く寒空の下、学校関係者や工事関係者、そして、揖斐川第二出張所も沿道に立ち、生徒たちを激励。「頑張れ！」の声援に、生徒たちは笑顔で応えてくれました。杭瀬川堤防を往復し、ゴールである同校に辿り着いた生徒たちは、育友会による豚汁が振る舞われ、辛く楽しい一日を過ごしました。



力走する大垣工高の生徒たち（杭瀬川左岸7.6Kp）



沿道で応援する（株）高田組の皆さん。

### 【競歩大会と強歩大会の違いとは？】

歩く速さを競う陸上競技種目を「競歩」と言い、長距離区間を最後まで歩き通す目的とした行事のことを「強歩」と言います。



（株）高田組  
監理技術者  
後藤 晃司 氏

- 強歩大会の開催にあたり、当社施工の杭瀬川左岸の堤防道路がコースルートに使用されることになったため、地域貢献活動の一貫として工事現場を開放し協力をさせていただきました。当日は、私たち施工業者も沿道に立ち、子供たちが歯を食いしばり、汗だくになって一生懸命走ってる姿を見て、自然と大声を張り上げ応援をしていました。最後尾で遅れてしまった子供には最後まで先生が並走され、ほのぼのとした光景の中で一時の安らぎを感じ、また、子供たちの頑張りによりパワーを頂くことができました。「若い」って、本当に素晴らしい事ですね。